

タンパク質合成GTPアーゼ

Cat. No. EXWM-4714

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、原核生物および真核生物のタンパク質合成に関与するタンパク質のファミリーで構成されています。開始因子複合体では、IF-2b (98 kDa) がGTPに結合し、その後原核生物で加水分解します。真核生物では、eIF-2 (150 kDa) がGTPに結合します。伸長段階では、GTP加水分解タンパク質は、原核生物の転移因子EF-Tuポリペプチド (43 kDa)、真核生物の伸長因子EF-1α (53 kDa)、原核生物のEF-G (77 kDa)、真核生物のEF-2 (70-110 kDa)、および小胞体タンパク質合成に関与するシグナル認識粒子 (325 kDa) です。EF-TuとEF-1αはアミノアシル-tRNAをリボソームのA部位に結合させる触媒を行い、EF-GとEF-2はペプチジル-tRNAをA部位からP部位に移動させる触媒を行います。GTPアーゼ活性は、pRFsおよびeRFsの助けを借りてリボソームからポリペプチドを放出することにも関与しています。

別名 伸長因子 (EF); 開始因子 (IF); ペプチド放出因子または終結因子

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.6.5.3

反応 $\text{GTP} + \text{H}_2\text{O} = \text{GDP} + \text{リン酸}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。